

トレンド提言

戦後71年目の夏を省みる

この夏日本列島は猛暑が続いた。

- ・8月6日に開会したリオオリンピックには世界各国から205カ国地域から1万1,000人ものアスリートが参加し、28競技306種目の競技に熱闘をくりひろげた。テレビでの観戦応援は深夜の時間帯で睡眠不足となった人も多かったようだ。
- ・この大イベントと重なった広島、長崎の原爆記念日。平和の願い、核廃絶の訴えは戦後71年目を迎えて例年にも増して強かったがマスコミ報道は小さかった。ロス五輪の開会式では核廃絶、平和の祈りが企画されたがIOCにより拒否されたという。平和の祭典であるオリンピックなのにIOCのスタンスはどうなっているのだろうか。
- ・98回を重ねた全国高校野球大会は8月6日開会した。都道府県の代表による競技は野球王国米国でも例がないのではないか。そこでは日本人のふるさと意識をよみがえらせてくれる。この時ばかりは母校、出身県の代表を応援する。選手の実力をみているとかつてあった大都市圏と地方や西高東低といった格差はみられない。灼熱の太陽の下でくり広げられる球児たちの一挙手一投足に幾千万人の目が注がれる。この大会への出場は全国の野球少年も夢である。選手は出場に向けた不断の努力が求められる。甲子園大会出場に至る道は当人だけでなく家族、学校関係者などの長年にわたる支援によって実現する。大会出場を通じて総合的な人間力が身につく。今大会では3,874校が参加した。優勝校は作新学院高校（栃木県代表）だった。準優勝となった北海高校（南北海道）の奮闘ぶりには惜しみない拍手がおくられた。

さて今夏で忘れ得ないことは多々あったが、小誌はあらためて戦後71年前（1945年、昭和20年）の夏の大事変について確かめておきたい。

その上で天皇陛下の「お気持ち」発表について考えることとしたい。

71年前（1945年、昭和20年）の夏

・7月10日

最高戦争指導会議がソ連に終戦の斡旋を依頼するために近衛文麿の派遣を決定した。しかし、ソ連は特使の使命がはっきりしないという理由で、諾否を答えられないと回答してきた。

・7月28日

鈴木首相は記者団に対しポツダム宣言を黙殺し戦争に邁進すると談話を発表した。7月17日からベルリンの郊外のポツダムで米英ソの巨頭会談（アメリカのトルーマン大統領、イギリスのチャーチル首相、途中からアトリーにかわる。ソ連のスターリン首相）が開かれた。この会談の結果として米、英、中三国の名でポツダム宣言が発表された（ソ連は対日戦に参加していなかったので参戦と同時に参加した。）その内容は①軍国主義の除去、②日本本土の占領、③日本領土の制限、④軍隊の解除、⑤戦争犯罪人の処罰、⑥日本国内における言論・宗教・思想の自由並に基本的人権の尊重、などを日本に課するものであった。

・8月6日

B29が広島に原子爆弾を投下した。午前8時頃、快晴の広島市上空に爆撃機が1機侵入して原子爆弾1個を投下した。爆弾は大閃光を放ち、高度600メートル付近で強烈な核爆発をおこした。熱線は爆心から800メートルの地点でも1,200度という高熱であった。さらに爆風も1平方メートルあたり4.5～6、7トンというすさまじさであった。つづいて9日、長崎にも原爆が投下された。

・8月8日

ソ連が対日宣戦布告をした。ヤルタ協定の取り決めどおり、ドイツ降伏後3カ月目であった。国境を突破してきたソ連軍は日本の国境守備隊をつぎつぎと全滅させて南下した。満州には関東軍24個師団75万人がいたが、優秀な師団は太平洋方面にひきぬかれていた。ソ連の満州進入で悲惨だったのは約100万人いた日本人居留民であった。彼等の多くは列車やトラックを使って逃げる日本軍に見捨てられ、ソ連軍の暴行略奪にさいなまれた。

・8月9日

ポツダム宣言に対する態度を決定する御前会議が宮中防空壕の一室で開催された。国体護持を条件に**ポツダム宣言の受諾**を10日午前2時30分に決定した。同日政府は中立国のスウェーデン・スイスを通じて連合国へ申し入れた。12日、日本の降伏条件についての連合国の回答が来たが、「天皇の地位は…連合軍司令官の制限の下に置かれること」と天皇制の将来については、直接ふれていなかった。

・8月14日

御前会議が開かれ、**ポツダム宣言受諾を決定**した。

・8月15日

天皇の戦争終結の詔書を放送した（玉音放送）。太平洋戦争での日本人の戦死者は約230万人、民間人死者数約80万人に達すると推定されている。

鈴木内閣が総辞職をした。「事ここに至るまでに輔弼の責任を尽し得ずして聖断を仰ぐにいたったこと」がその理由であった。

・8月17日

はじめての皇族内閣**東久邇内閣が成立**した。皇族の権威で国体を護持し、軍の抵抗や国民の不満をやわらげようとした。外務大臣は重光葵、国务大臣に近衛文麿と緒方竹虎をすえた。

・8月18日

内務省は各地方長官に占領軍向けの性的慰安施設の設置を指令した。これをうけて接客業者らは**株式会社特殊慰安施設協会**を設立し、最初の施設として小町園を東京大森に開業した。アメリカ軍進駐をひかえ人心の動揺、婦女子の疎開などもおこなわれたりした。

・8月24日

埼玉県朝霞に野営中の陸軍将校ら67人は、川口・鳩ヶ谷放送所などを占拠した。このため、午前6時から9時まで関東地区は放送不能となった。

・8月28日

連合軍の先遣部隊が厚木飛行場に到着した。以後各地に進駐をはじめた。連合
国最高司令官マッカーサーも、8月30日に厚木に着いた。上着なしのカーキ
色の服に黒眼鏡、大きなコーンパイプを手にしていた。「メルボルンから東京ま
で長い道のりだった」と第一声を発した。連合軍総司令部（GHQ）は当初横浜
に設置されたが9月15日に東京日比谷の第一生命相互ビルに移った。

東久邇宮首相は初の記者会見で**国体護持・全国民総懺悔**を強調した。

・9月2日

東京湾のアメリカの戦艦ミズーリ号上で全権委員重光葵外相と梅津美治郎参謀
総長が**降伏文書**に調印した。これに基づき大本営は敵対行為を直ちにやめ武装
解除の命令を出した。天皇および日本国政府の国家統治の権限も連合軍最高
司令官の制限の下におかれた。

・9月6日

降伏後における**アメリカの対日方針**をアメリカ大統領が承認し、マッカーサー
に指令を出した。第一部の究極の目的では、①日本国が再びアメリカの脅威と
なり、または世界の平和および安全の脅威とならざることを確実にすること。
②他国家の権利を尊重し、国際連合の理想と原則に示されたるアメリカの目的
を支持すべき平和的且つ責任ある政府を究極に於て樹立すること、とアメリカ
の意図がはっきりとうたわれている。

・9月11日

GHQは、東条英機ら39人の**戦争犯罪人逮捕を命令**した。東条英機元大将、嶋田
繁太郎大将、賀屋興宣元蔵相、岩村通世元法相、井野碩哉元農相、鈴木貞一元国務相、
村田省蔵元フィリピン大使などが含まれていた。このうち東条はピストル自殺（未
遂）を図り、小泉親彦元厚相はアメリカ官憲の来訪を事前に察知して割腹自殺し、
橋田邦彦元文相も出頭を求められて服毒自殺した。11月になると荒木貞夫、小磯
国昭、松岡洋右、松井石根、久原房之助ら11人に逮捕命令が出された。

・9月27日

天皇がアメリカ大使館にマッカーサーを訪問した。モーニング姿の天皇と上着
なしのマッカーサーの写真が一面トップに報道され天皇が貧相に見えるという
ので情報局があわてて発売禁止にするなどの一幕もあった。

天皇陛下の「お気持ち」発表を考える

天皇陛下は、ご自身の加齢と象徴天皇としての役割について、国民向けのお気持ちをビデオメッセージを通じて表明された。(8月8日)

○お気持ちの要旨

・高齢による公務への不安

次第に進む身体の衰えを考慮する時、全身全霊をもって象徴の務めを果たしていくことが難しくなるのではないかと案じています

・公務縮小による対応には限界

国事行為や、象徴としての行為を限りなく縮小していくことには無理があらうと思われま

・摂政を置いても天皇に変わりはない

天皇の行為を代行する摂政を置く場合も、天皇が十分に務めを果たせぬまま、生涯の終わりに至るまで天皇であり続けることに変わりはありません

・天皇の健康問題が社会に与える影響や、皇位継承に伴う諸行事の負担を懸念

天皇が健康を損ない、深刻な状態に立ち至った場合、社会が停滞し、国民の暮らしにも様々な影響が及ぶことが懸念されます。天皇の終焉しゅうえんに当たっては、喪儀に関連する様々な行事と、新時代に関わる諸行事が同時に進行し、行事に関わる人々、とりわけ残される家族は非常に厳しい状況下に置かれざるを得ません

○これまでの経緯

- 象徴の在り方、たびたび言及 -

天皇陛下は誕生日の記者会見などで、象徴天皇の在り方について、質問に答える形でたびたび言及されてきた。公務に関する主な発言を、皇太子さま、秋篠宮さまの分も含めてまとめた。

天皇陛下

- ・憲法に定められた天皇の在り方を念頭に、天皇の務めを果たしていきたいと思っております。(1989年8月、即位後初の会見)
- ・国民の幸せを常に願っていた天皇の歴史に思いを致し、国と国民のために尽くすことが天皇の務めであると思っています。(98年12月、65歳の誕生日前会見)
- ・障害者や高齢者、災害を受けた人々、社会や人々のために尽くしている人々に

心を寄せていくことは、私どもの大切な務めであると思います（99年11月、即位10年の会見）

- ・この20年、長い天皇の歴史に思いを致し、国民の上を思い、象徴として望ましい天皇の在り方を求めつつ、今日まで過ごしてきました。（2009年11月、即位20年の会見）
- ・年齢というものを感じることも多くなり、行事の時に間違えることもありました（15年12月、82歳の誕生日前会見）

皇太子さま

- ・両陛下のお気持ちを十分踏まえながら、少しでもお役に立つことがあれば喜んでお力になりたいと思います（16年2月、56歳の誕生日前会見）

秋篠宮さま

- ・定年制というのは、やはり必要になってくると思います。ある一定の年齢を過ぎれば、人間はだんだんいろんなことをすることが難しくなっていくので、それは一つの考えだと思います（11年11月、46歳の誕生日前会見。陛下の公務に定年制を設けることに関する質問に）

○ 2015年に天皇陛下が臨んだ主な行事、活動

内閣から届けられ、署名・押印した書類	1060件	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 因みに陛下はサイパン島（2005年）国内では沖縄、広島、長崎を訪問するなど戦争の惨禍、犠牲者を追悼し続けてきた </div>
閣僚などの認証官任命式	136人	
各省庁事務次官らの進講	13回	
新任外国大使の信任状奉呈式	26人	
外国訪問	1回（パラオ）	
式典など都内への外出	28回	
地方訪問（御用邸での静養を除く）	15県29市11町	
地方訪問や行事についての事前説明	49回	
公的機関、各種団体の代表、ボランティアとの拝謁（はいえつ）、懇談	約270回	
皇居内での勤労奉仕団などとの面会	63回 (延べ8,980人)	
宮中祭祀（さいし）	19回	
取りやめ	拝謁： 警察大学校警部任用科学生、警察本部長、検事正、地・家裁所長、市町村議会議長、自衛隊幹部 午さん： 総務相、知事ら	
皇太子ご夫妻へ	拝謁： 校長会の理事会に出席する小学校長、校長会の総会に出席する中学校長 接見： 国際緊急援助隊（JDR）、国際平和協力隊（PKO）	

○政府の方針

安倍晋三首相は8月8日、天皇陛下の意向表明を受け、「ご公務の在り方などについては天皇陛下のご心労に思いを致し、どのようなことができるのかしっかり考えていかなければいけない」と首相官邸で記者団に語った。政府は今後、有識者から広く意見を募るなどし、世論の動向を踏まえた上でどのような対応が可能か検討を進める方針だ。

○国民はどう受けとめるべきか

・なぜこの時期に発表されたのか

昨年（2015年）1月2日、新年を祝う一般参賀で天皇陛下は「本年は終戦から70年という節目の年にあたります。（中略）この機会に、満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学び（中略）国民1人一人にとり、少しでもよい年になるよう願っています。」と呼びかけられた。

天皇陛下は在位28年の間、象徴天皇として一貫して反戦、平和、国民の平和を大切にされてこられた。いわば憲法の尊重遵守義務（憲法第99条）「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」を誠実に果たしているといえる。

ところで近年における政治の流れは憲法改正に傾いている。特に本年の参院選で両院の2/3という改憲勢力を得た政府与党は今秋から改憲論議を始めるとみられる。

こうした中で象徴天皇としては政治行為はできず、苦悩を重ねていたのではなかろうか。そこで戦後71年目を迎えるこの機にあたり、国民に向けて「お気持ち」という形式で意思表示されたといえる。

・国民の課題

今回の「お気持ち」の真意・主眼が「生前退位」にあるのか、総合的に解明理解することが求められる。

天皇陛下は1933年（昭和8年）12月23日生れ、今年の誕生日を迎えて83歳を迎えられる。戦時中は疎開も体験されている。戦争の惨禍について深い認識をもっておられる。旧憲法下で天皇制を悪用して無謀な侵略戦争により日本国民を含めてアジア諸国民などに数千万の犠牲を強いた歴史。その反省の上に立って制定された国民の総意に基づく象徴天皇制。国民主権主義そして再び戦争の惨禍を起こさないための平和主義など憲法の基本原則を深く正しく理解しておられる。

このたびの「お気持ち」という決断は上記にみたような天皇陛下のご体験と象徴天皇としての課題について後継者への継承の備えが進んだと理解したい。

従って国民としては皇室典範の改正などが手続論も然ることながら天皇陛下の「お気持ち」の真意、その背景にあることを汲みとることがもっとも重要なことではないだろうか。

戦後71年追悼式

戦後71年となった8月15日、政府主催の「全国戦没者追悼式」が東京千代田区日本武道館で開かれた。

天皇陛下からは「ここに過去を顧み、深い反省とともに、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願い、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」とのお言葉があった。

一方、安倍首相は戦争に関する「加害」と「反省」には触れなかった。

アジア太平洋戦争を「侵略戦争」と認めない安倍首相としては過去を顧み反省することはないのだろうか。歴史を学ぶことは未来を築くためにあることを理解すべきだ。

因みに2015年1月31日94歳で死去されたリヒャルト・カール・フライヘア・フォン・ヴァイツェッカー元ドイツ大統領は戦後40年（1985年）の演説で「過去に目を閉ざす者は現在も盲目になる」「われわれすべてが過去を引き受けなければならない」と述べている。

安倍首相のスタンスとは対照的である。

戦後71年追悼式での「お言葉」

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来既に71年、国民のためみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。苦難に満ちた往時をしのぶとき、感慨は今なお尽きることがありません。

ここに過去を顧み、深い反省とともに、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願い、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。（全文）

夏の甲子園大会、リオ五輪も終わり秋を迎えた。

この際国民は政治や経済の動向、とくに憲法制定の経緯、憲法の基本原則について主権者としての自覚を高め、国民的論議を深める学習の秋にせねばならない。高齢となった天皇陛下に現代社会の苦悩を負担させてはなるまい。

イチロー米大リーグで3,000安打達成

大リーグ・マーリンズのイチロー外野手（42）は8月7日（日本時間8日）、米コロラド州デンバーのロッキーズ戦で、100年を超える歴史を持つ大リーグで史上30人目の通算3千安打を達成した。日本選手初の快挙。2001年4月2日の初安打から16年目で到達した。（8月9日）

8月9日の各紙・テレビは大々的に報じた。号外も出た。米国各紙も「偉業」とたたえた。

イチローの大リーグ年別安打数の軌跡

2001年	242 (安打数)
02	208
03	212
04	262 ←大リーグ年間最多安打記録
05	206
06	224
07	238
08	213
09	225
10	214 10年間連続200本安打(この間マリナーズ所属)
11	184
12	178 ヤンキースへ移籍
13	136
14	102
15	91 マリナーズへ移籍
16	65

合計 3000（8月22日現在では3008本）

2001年は打率.350、04年は.372で首位打者。12年途中までマリナーズ、14年までヤンキース、15年からマーリンズ。太字はリーグ最多安打。数字は米国8月7日現在

日米通算では本年6月15日4,257本の安打達成。これによりピートローズ（薬物スキャンダルの経歴をもつ）の大リーグ記録4,256本を追い抜いている。

○イチローの偉業に学ぶ

イチローの偉大さはどこにあるのだろうか。

- ・結果が重視されるスポーツ界で大記録を達成したことにあることは言うまでもない。
- ・偉業達成の背景には**旺盛な向上心と真摯な自己管理努力**、そしてこれを支えたご両親や奥様のご尽力があったに違いない。
- ・3,000本まであと2本となった7月下旬～8月9日までの間、代打だけの試合も多かった。ファンは今日か今日かと待ちくたびれる有さまだった。本人は相も変わらずクールそのもの。内心の苦悩は如何ばかりだったろうか。「他人に会いたくないこともあった」という。この忍耐力は“**求道**”の証だ。「**男は黙って勝負する**」という武士道を想起させる。
- ・3,000本達成に際しての感想では
「大リーグ行きを決断してくれたオリックス時代の仰木監督(2000年)に**感謝する**」
「達成感や満足感を味わうほど僕は前に進める」
「**僕以外の人**が喜んでくれることが何より**大事**」
この心境は正に「**利他の心**」(己れを忘れて他を利するは慈悲の極みなり 最澄)と言えるもので**超一流の人物に成長**している。日米両国、そして相手方チームのファンまでもがイチローの**快挙と人間性**に拍手を惜しまないのである。
- ・**知性、理性、品性、感性を兼ね備えている**ことも見上げたものだ。
- ・日米両リーグで活躍し、米大リーグで日本選手の実力を示した先駆者は野茂英雄だ。彼は大リーグ(アメリカンリーグ(1996年)、ナショナルリーグ(2001年))と両リーグで2回ノーヒットノーランを達成した。イチローとの共通点は野球を通じて**日米両国民の友好のかけ橋**となったことだ。だが両人ともこのことについて口にすることはない。**日本人の謙虚さという美德**を備えている。

記録はこれからも更新されるであろう。ファンもそれを期待している。

1人の人間の行動が数千万の人を一喜一憂させたことは、3,000本安打記録を上回る大記録だった。ともあれ、イチローの歴史の中で果たした役割は大きかった。

<余録>

筆者のイチロー観戦は2012年3月28日。イチローがマリナーズに所属した年(年途中からヤンキースへ)。大リーグの開幕試合が東京ドームで行われた。その日イチローは対アスレチックス戦で5打数4安打。試合は3-1でマリナーズ勝利。日本のファンに大きなよろこびを与えてくれた。

第31回リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会に学ぶ

8月6日～21日に開催されたリオデジャネイロオリンピックから多くのことを学ぶことができた。

<大会概要>

参加国・地域数	205
参加人数	11,000人以上
競技種目数	28競技306種目
開会式	2016年8月5日（パラリンピック大会は9月8日開幕）
閉会式	2016年8月21日
開会宣言	ミシェル・テメル大統領代行

<学んだこと>

○開会の理念—未来へのメッセージ

平和重視

この大会には紛争中のシリア、イラクなど含めて5つの大陸から205の国・地域から1万1,000人以上の各国代表が参加した。（史上最高）

因みに古代オリンピックでは、オリンピック開催時には全ての戦闘は中止された。今大会には内戦中の国からの参加もあり平和の祭典にふさわしい開幕となった。

多様性容認

欧米諸国では移民問題が火種となっているが、今大会では難民選手団（10名）が参加した。英国のEU離脱、米大統領選におけるトランプ氏の発言は今大会のメッセージを積極的に受けとめてもらいたい。言うまでもなく大会参加の各国選手団は異民族によって構成されている。

環境重視—地球温暖化対策

ブラジル開発の歴史はアマゾン流域の原始林の伐採の歴史でもある。

CO₂の吸収源である原始林の減少はくい止めなければならない。森林再生のため参加選手1人1人が会場内で植林を試みた。世界に向けた環境立国宣言であった。

オリンピック憲章

前文

近代オリンピズムの生みの親はピエール・ド・クーベルタンである。クーベルタンの主導により、パリ国際アスレチック・コンGRESSが1894年6月に開かれた。国際オリンピック委員会（IOC）が設立されたのは1894年6月23日である。近代の最初のオリンピック競技大会（オリンピック競技大会）は1896年、ギリシャのアテネで開催された。1914年、パリ・コンGRESSはピエール・ド・クーベルタンの提案したオリンピック旗を採択した。オリンピック旗は、5つの大陸の団結とオリンピック競技大会で世界中の選手が集うことを表現する、5つの結び合う輪を持つ。第1回のオリンピック冬季競技大会は1924年、フランスのシャモニーで開催された。

オリンピズムの根本原則

1. オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。
2. オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励することを目指し、スポーツを人類の調和の取れた発展に役立てることにある。
3. オリンピック・ムーブメントは、オリンピズムの価値に鼓舞された個人と団体による、協調の取れた組織的、普遍的、恒久的活動である。その活動を推し進めるのは最高機関のIOCである。活動は5大陸にまたがり、偉大なスポーツの祭典、オリンピック競技大会に世界中の選手を集めるとき、頂点に達する。そのシンボルは5つの結び合う輪である。
4. スポーツをすることは人権の1つである。スポーツ（sports）とは本来娯楽の意、現在では競技としている。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。
5. スポーツ団体はオリンピック・ムーブメントにおいて、スポーツが社会の枠組みの中で営まれることを理解し、自律の権利と義務を持つ。自律には競技規則を自由に定め管理すること、自身の組織の構成と統治について決定すること、外部からのいかなる影響も受けずに選挙を実施する権利、および良好な統治の原則を確実に適用する責任が含まれる。
6. このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、

宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。

7. オリンピック・ムーブメントの一員となるには、オリンピック憲章の遵守およびIOCによる承認が必要である。

オリンピズムはどのように発揮されたか

○個人がスポーツに参加する権利について

この権利はオリンピズムの主要な原則の一つである。

このことに関しては国と個人との関係で二つの問題がみられた。

・ロシア選手のドーピングスキャンダル

ロシア政府による組織的な国威発揚策に因るものか、選手個人の意思に因るものか解明されなければならない。オリンピズムのフェア精神にも反するものであり、何よりも個人の参加権を奪ったことは問題を残した。

・もう一つは選手の多国籍問題だ。事例としては中国籍の卓球選手がドイツやポーランド、シンガポールなどの代表として参加していることや、アメリカ陸上選手の中にはケニア等アフリカ諸国民が多数いることをどう理解すべきかである。

選手個人としてはオリンピックに参加したいという権利の行使のためといえる。

一方当該国としては国別対抗を意識したものでナショナリズムとみられても止むを得ない。

・大切なことはスポーツをどのように理解するかである。辞書を引くと運動、競技、娯楽とある。つまり運動、競技を通して娯楽することと理解したい。因みに娯楽とは人間の心を仕事から解放して楽しませることと言える。その意味で選手たちが「競技を楽しみたい」と口にするが、これはスポーツに向き合う正常なスタンスなのである。結果としてメダルに輝き当人はもとより関係者も楽しませてもらえることはすばらしいことだ。関係者は「～国のため」などプレッシャーをかけるようなことは慎まなければならない。

・ところでマスコミは「日本のメダル数は～」と報じているが正確には「日本人選手のメダル数は～」と言わなければならない。と言うのはメダルは国別対抗ではなく、選手またはチームの荣誉を称えるものだからである。(オリンピック憲章)

その背景にはオリンピックが国威発揚の場となったり、ナショナリズムの台頭とならぬよう歴史の教訓を学んだ経緯があるのである。だが、現実には各国政府の中にも国民も国別対抗に疑問をもっていないとみられる。あらためてオリンピック精神を正しく受け止めたいものである。

○差別はなくなってきたか

これもオリンピズムの大原則だ。今やアフリカ系黒人選手の活躍はめざましい。わけでも陸上界では国境を超えて独壇場となっている。だがかつて米国のオリンピック水泳選手に黒人はみられなかった。白人とは同じプールに入れなかったからだ。今大会で初めて登場し好成績を残した。米国オバマ大統領の登場以降、黒人差別が減少しているとされるが、オリンピック選手に関してもその一環とみられる。

米国選手にメダル数が多いのは米国の移民政策によるところ大である。

○女性の活躍

- ・回を重ねるごとに参加種目が増えていることに注目したい。陸上や水泳競技への女性参加の歴史は古い。現状ではバレーボール、バスケットボール、ハンドボール、テニス、サッカー、ラグビー、卓球、バドミントン、ゴルフなど**各種の球技**でも活躍している。

特にかつては男性独自の分野とされた種目であった柔道、レスリング、テコンドー、ホッケーなどの**格闘技**種目にも積極的な進出がみられる。そこでは**男性とは異質な感性、忍耐力、ねばり強さ、執着力**が特徴的である。

- ・**女性固有の種目**として二つの演技に注目したい。一つは**新体操**。個人と団体（5人）とがあるが団体についてみたい。5人の美女が魅惑的な水着姿のユニフォームを着用し表現力を競う種目だけにヘアスタイル、メイクもみがきがかかっておりハイセンスで優雅だ。伸びやかな肢体がリボン、ボール、フープ、クラブを操りながら床の上で音楽に合わせて舞う、跳ぶ、回転するなど曲芸をくり広げる。**心・技・体を一心に集めたスポーツショー**だ。芸術性が高い。

もう一つは**シンクロナイズドスイミング**。Synchronizedとは同時性という意味だ。複数の女性水泳者が**同時性、協調性**をもって水中で、いろいろなジャンルの音楽（クラシック、ラテン、民族音楽など）に合わせて創意性をもって舞い踊り美技を競うのである。

ギリシャ哲学の世界では**真・善・美の世界**に到達しようとする衝動をエロスとした（プラトン）のだが、**美女の水中花**は正にエロスと言える。ギリシャに始ったオリンピックのフィナーレにふさわしい感動的なショーである。

以上二つの種目はいずれも**平和の祭典**にふさわしいものだ。

○参加競技種目に問題はないか

競技種目は五大陸の各国各民族から参加できることが望ましいとするオリンピックの精神だ。

- ・1964年の東京オリンピックから種目(24ヶ国)とされた柔道は今や世界各国(136ヶ国)に普及されている。この成果は“礼に始まり礼に終わる”という柔の道(嘉納 治五郎)を各国の格闘技の中に関係者が普及させる努力を惜しまなかったことに因ると言える。

同時に柔道に取り組むことは新興国の人たちにも可能な条件があったとみられる。スラム街(ブラジル、ファベラ)からも金メダリスト(女子57kg級・シルバ選手)が出ている。サッカー人口が多いのも同様に考えられる。

- ・一方、多くの世界の人たちが参加困難なスポーツもオリンピック種目となっていることに注目したい。

事例としては、近代5種競技種目には水泳(200m自由形)、陸上(4000mクロスカントリー)、フェンシングとならんで射撃(ピストル)、馬術がある。ピストルは平和の祭典にふさわしいか、馬術はもともと貴族や軍人の趣味ではないのか。

112年ぶりに復活したゴルフも先進国では盛んだが、広い土地を必要としカネのかかる富裕層向けのスポーツだ。趣味としてのスポーツなら理解できるがオリンピック種目としては如何なものだろうか。

東京オリンピック(2020年)では野球とソフトボールが種目に加わることとなり、関係者はよろこんでいる。(筆者もその1人)だが五大陸の中でどれだけの国から参加できるのだろうか。現状ではアメリカ勢力圏中心のスポーツだがヨーロッパ、アフリカ圏にも普及させることが求められる。

オリンピック種目はエリート集団のものにしてはならない。

IOCは参加種目の選定にあたっては特定の競技団体の圧力に屈することなくオリンピックの精神に則り総合的な視点から判断されたい。種目が増え各国各民族のスポーツによる楽しみが増えることは好ましいことだ。

○東京オリンピックへの課題

- ・全ての国民はオリンピック精神を遵守しよう。
- ・経済効果はオリンピックの目的ではないことを確認しよう。
- ・選手はメダル獲得の夢を持って励もう。
- ・政治家は選手第一主義に徹しよう。

施設建設などの利権から一斉手を引こう。

主催は東京都。政府ではないことを確認しよう。

メダリストを政治に利用することをやめよう。メダルは政治家や国家のものではないのだ。能力あるアスリートがオリンピックの舞台に出場できるよう支援をしよう。

- ・平和な環境立国日本として世界を迎えよう。

資 料

ブラジル連邦共和国 República Federativa do Brasil (Federative Republic of Brazil)

主要データ

面積	851万4,877km ²
資源	鉄鉱石、スズ、ボーキサイト、ウラン、金、石油
人口	1億9,840万人（2012年推定）
首都	ブラジリア（Brasília、Brasília）、人口256万人（2010年）
主要都市	サンパウロ1,124万人、リオデジャネイロ632万人、サルバドル268万人、フォルタレザ245万人、ベロオリゾンテ238万人（同）
住民	白人54%（ポルトガル、スペイン、イタリア、ドイツ系が多い）、混血39%、黒人6%、アジア系など1%、先住民82万人
言語	ポルトガル語が公用語
宗教	カトリックが74%、プロテスタント15%、ほかに伝統宗教、キリスト教各派、仏教、ユダヤ教、イスラム教など
政治体制	連邦共和制。大統領が最高権力者
憲法	1988年10月5日施行
元首	大統領。ミシェル・テメル（Michel Miguel Elias Temer Lulia）（代行）。直接選挙制。任期4年。2016年5月12日就任。連続再選1回可能
議会	二院制。上院81議席、任期8年。下院513議席、任期4年
内閣	大統領が任免。首相なし。2011年1月1日発足
国内総生産	2兆878億9,000ドル（2010年）
1人当たり国民総所得	9,390ドル（同）
通貨	レアル（Real）。1ドル＝3.20レアル（2016年8月22日）
URL	http://www2.planalto.gov.br/ （大統領府。ポルトガル語）
日本との 国交樹立年月日	1895年11月5日修好通商条約締結、1952年4月28日国交回復

国土概観

南米大陸の中・東部に位置し、面積は南米大陸の47%、日本の約23倍で世界5位。アマゾン川（6,516km）が北部を西から東に大西洋まで流れる。国土の63%を占めるブラジル高原が中部から南東部に広がる。北部は熱帯雨林気候。高原、海岸平地は亜熱帯気候。南部は温帯で農業地帯。

歴史

ラテンアメリカ諸国のなかでは、いささか異なるおいたちをもつのがこの国の特色である。「発見」は偶然の結果で、そのため新大陸唯一のポルトガル領となった。植民地開発はサトウキビ・綿花（多年性のモコ種）の荘園農業中心で進展し、その労働力確保のためインディオ狩りのパリウスタ（サンパウロの混血者）が内陸に進出し、それが領域拡大を進行した。16、7世紀における荘園農業のめざましい発展は、黒人奴隷移入でもアメリカ南部に劣らぬ動きを展開し、1818年調査では全人口の52.2%（188.75万）が黒人であった（なお、白人は84.3万、混血者62.8万、インディオ25.94万）。大地主制による砂糖貴族は多数の黒人奴隷を底辺とするピラミッド的社会の専制君主として、半独立体制をとり、広大なこの国の領域とともに地域主義的傾向の有力な要因となった。17世紀はじめのインディオ奴隷禁止はジェスイット派宣教師の強い要請からで、それが黒人奴隷廃止をも要求するに及んでついに同派宣教師の国外追放となった。これは植民地経済の基盤を否定するとみられたからである。なお、19世紀前半のポルトガル王室の一時的移住は、イギリスの援護によるもので、その帰国が契機となったブラジル王国の独立も例外の一つである。

年代	事項
一五〇〇	ペドロIIアルバレスIIカブラル、北東部に上陸、ポルトガル領有宣言、ペラIIクルースと命名（四月三日）
一九	マゼラン、リオデジャネイロに寄港
三三	マルチンIIアフォンソIIテIIソーザ、この国最初の植民地サンIIピセンテ（リオ南郊）建設
四九	トメIIデIIソーザ、初代総督に任命され、首都サルバドル（バイア）を建設
五四	サンパウロ建設
六七	リオデジャネイロ建設
七二	南（リオ）、北（バイア）の両植民地に分離（五七七年再統合）
八〇	ポルトガル本国、スペインに攻略され、ブラジルもスペイン領編入
八三	黒人移入開始
一六一	インディオ奴隷禁止
四〇	本国とともにスペイン領から離脱
九三	中央高地で砂金発見、黄金狂時代となる
一八〇八	リオデジャネイロを王国の首都とする（↓二年）外国系移民の入植公許
一〇	対イギリス通商条約成立
一五	王国内の自治領となる
一六	国王ジョン六世即位
二二	ドンIIペドロ王子、ブラジル独立を宣言、初代国王に即位（ドンIIペドロ二世）
二二	ウルグアイを併合
二四	アメリカ合衆国、独立を承認
二五	ポルトガル王国、ブラジル独立を承認、ウルグアイをめくり対アルゼンチン戦争（二八年講和）
二六	イギリス、独立を承認
四〇	ドンIIペドロ二世即位
五〇	黒人奴隷移入禁止
六四	対パラグアイ戦争（七〇年講和）
七二	リオIIブランコ法成立、解放奴隷約一七〇万
七四	ラテン諸国からの移民増加
八八	奴隷解放（七〇万）
八九	陸軍中心の無血クーデターにより王政廃止、共和制となる
九〇	憲法制定、連邦制共和国成立
一九〇三	ポリビアよりアクレ地方を譲渡
〇八	日本系移民、サンパウロ州に入植
二九	世界恐慌始まる、コーヒー輸出急減
三〇	クーデターにより共和党政権（四〇か年継続）崩壊、バルガス政権成立、外債モラトリアム宣言
三三	移民入国制限法（二分制限）成立
三四	第二次憲法制定
三七	第三次憲法（独裁的）制定
四五	軍部クーデターによりバルガス政権崩壊
四六	第四次憲法（連邦共和制）制定
五〇	第二次バルガス政権成立
五六	経済開発五か年計画成立
六〇	首都をブラジリアへ移す
六〇	クワドロス大統領就任

先住民問題

先住民は500年前、推定で150万人に上ったが、外部から侵入した病原菌による感染症や金採掘、農牧地開発で10万人まで激減。保護政策でアマゾン地域を中心に82万人（10年）に回復した。保護区では近代農業の導入などが進むが生活格差や差別の問題が残り、権利要求運動が続いている。

パラ州のアマゾン川支流シンゲー川に発電出力が世界3位の巨大ダムとなるペロモンチダムの建設が11年6月に始まった。15年頃に発電を始め、完成は20年ごろの見込み。

日系移民

日系移民の入植は1908年（明治41）からで、6月18日にサントスに入港した笠戸丸による781人（158家族）が最初である。第二次世界大戦までの入国者は約18.9万、第二次世界大戦後（1960年まで）は約3.8万人で、日系コロニア（二・三世を含む）の総数は約45万とみられ、その76%はサンパウロ州に集中している。1960年（昭和35）成立の移植民協定では、両国政府の協力による農工移民の推進が規定されている。ブラジルに在住する日本人は約130万人（2016年3月現在）。

産業

▼**鉱業** 鉄鉱石の埋蔵量は290億トン。世界最大の鉄鉱石会社バーレを筆頭に10年の生産量は推定3億7,000億トンで、中国とオーストラリアに次いで3位。他にボーキサイト3,210万トン、スズ1万2,000トン、金65トンなど。レアメタル（希少金属）も豊富。

▼**工業** 自動車、航空機の製造が盛ん。10年の自動車（トラック、バスを含む）生産台数は365万台。11年の販売台数は363万台超で5年連続過去最高。フォルクスワーゲン（VW）、フィアット、ゼネラル・モーターズ（GM）、フォードなどが進出。日本車のシェアは9.4%（10年）と欧米車に比べて低い。航空機産業では、エンブラエル社が民間機メーカーとしては受注ベースで世界3位。30－120席の小型機のシェアは06年にボンバルディア（カナダ）を抜き、世界首位に。

▼**農業** 鶏肉、牛肉、砂糖、コーヒー、オレンジジュースの輸出量が世界一（10年）。

▼エネルギー

●**エタノール** 1975年の国家計画でガソリンの代替燃料として、サトウキビを原料とするエタノールの生産、流通を促進、全国に普及させた。生産地はサンパウロ州。地球温暖化防止に有効な燃料として近年、再び注目を集め、生産、輸出ともに急増中。生産量は2,820万キロリットルで米国に次いで2位、輸出量は190万キロリットルで

1位（2010年）。政府は熱帯雨林保全のためアマゾンや南部パンタナル湿原でのサトウキビ栽培を禁止。国営石油会社ペトロブラスは10年1月19日、ミナスジェライス州ジェイスデフォラで世界初のエタノール燃料による発電所の操業開始。米ゼネラル・エレクトリック（GE）社がエタノールでも天然ガスでも発電できるよう改造した。

●**石油** 生産量は日量214万バレル（10年）、確認埋蔵量は142億バレル（同）。

ペトロブラスの深海油田の探査、採掘能力は世界でも最高レベル。

●**その他のエネルギー** 電力の約9割を水力発電で賄う。イタイプ水力発電所は出力1,400万キロワットで中国の三峡ダムに次ぐ規模。

●**原発** リオデジャネイロ州にアングラ原発1号機（1985年に営業ベースでの発電開始）と2号機（2001年に営業発電開始）。3号機は1980年代にいったん着工したが後に中止。東京電力福島第一原発事故を受け、ロバン鉱業・エネルギー相は11年6月1日、新たに建設予定だった原発4基について計画を見直す方針を表明。「現時点では計画中止ではない」と述べた。3号機の建設は継続。核兵器開発は1960—80年代の軍政下で秘密裏推進したが、88年に計画破棄を表明。2003年10月、遠心分離機による濃縮ウラン生産を開始する計画を発表。06年5月試運転開始。

BRICS

ロシア、インド、中国、南アフリカとともに有力新興国「BRICS」の一角。特に近年は、経済成長に伴う需要拡大からのブラジルの生産品の大豆や鉄鉱石の輸出が増えている中国との関係深化が顕著。中国は09年4月、米国を抜きブラジル最大の貿易相手国に。ルセフ大統領は11年4月12日、北京で中国の胡錦濤国家主席と会談し、経済・貿易や国際問題への対応で協力関係を強化することを確認、両国間協力などに関する文書に調印した。中国海南省三亜市で14日、BRICS首脳会議が開かれ、金融危機からの回復をけん引する新興国が世界経済の成長のために今後も連携を強化することを確認。将来のエネルギー政策で原発の重要性などを確認した「三亜宣言」を発表した。

サンバ

ブラジルの代表的な民俗舞踊、大衆音楽。その名称も踊りやリズムも源はアフリカから来たと言われ、テンポの速いものから遅いものまで幅広く包含するが、共通点としては2/4拍子で絶えまなく揺れ動き続ける感じがあり、基底にアフリカ音楽の血が流れていることは確かである。19世紀の終りごろ、リオ・デ・ジャネイロ郊外に工場地帯が造成されたあと、北東のサルバドル市から流入した黒人労働者たちが輪になっての踊りや、カーニバルの行列の風習などを持ち込み、それがサンバに発展した。

原始林

ブラジルは、赤道をまたぐ約850平方キロメートル（約8億5,000万ヘクタール）の広大な国土に、世界最大の熱帯林アマゾンを擁する森林大国。ブラジルの森林は、世界の生物多様性のうちの相当部分を担っている。5万6,000～6万2,000種の高等植物（コケ類、地衣類、菌類は含まず）と多くの哺乳類がそこには生息しており、これは世界の植物種の約20%、鳥類の20%、哺乳類の10%に相当する。

森林保全の取組み等

アマゾンの森林地域の持続可能な管理に向けて、2000年代の後半には多くの前進がみられ、2005年以降2010年までに森林認証を受けた森林が倍増するなどの成果に表れている。この背景には、違法伐採の監視や森林減少の観測のための衛星を使った監視システムの開発・活用や土地の所有・利用をめぐる権利の明確化に向けた取組みの進展など、森林をめぐる法制度の執行状態の改善や法規制等の整備に加えて、特に公共林及び保全地域の管理、モニタリング、生物多様性保全、劣化した森林の再生等のプロジェクトの支援に用いられる資金を2021年までに210億ドル国内外の政府や企業から募る「アマゾン基金」など新たな資金等の創出も影響していると考えられる。

また、ブラジルにおける従来の全二酸化炭素排出の約75%（約8億トン、1994年、ブラジル政府森林炭素排出インベントリー）は土地利用・土地利用変化及び林業に由来しており、森林減少対策は、同時にブラジル政府の最も重要な気候変動対策の取組みともなっている。そのため、ブラジルへの内外からの具体的な REDD プラス（途上国における森林減少・劣化の抑制等による温室効果ガス排出削減）への期待は非常に高まっており、地方政府、民間企業、NGO を中心とした REDD プラス関連プロジェクトは2010年後半の時点で少なくとも10を超えている。

ブラジルの森林面積の推移

年	1990	2000	2005	2010
森林計 (1,000ha)	574,839	545,943	530,494	519,522
原生林 (1,000ha)	530,041	501,926	488,254	476,573
天然再生林 (1,000ha)	39,814	38,841	36,475	35,532
人工林 (1,000ha)	4,984	5,176	5,765	7,418
人工林のうち外来種導入 (1,000ha)	4,850	5,108	5,578	7,096
国土面積 (1,000ha)	851,488	851,488	851,488	851,488
森林率	67.5%	64.1%	62.3%	61.0%